

タイでの地震を契機に考える災害時の外国人支援について

バンコク事務所長 東 智子

1. 地震発生直後のタイ・バンコクにおける状況

2025年3月28日、ミャンマー中部を震源地とする大地震の影響で、バンコクでも揺れが生じ、高層ビルを中心に建物被害が出た。建設中の高層ビルの倒壊や高層マンションが大きく揺れる映像が、地震発生直後から SNS で拡散された。地震による心理的動揺に加え、安全確認のために長時間外で待機させるビルのそばで疲れた様子の人々も目にした。当日は電車の運行停止によりタクシーの利用希望者が大変多かったが、タクシーを手配できず、歩いて帰宅する人々やホテルの前などで大きな荷物をもって途方に暮れる旅行者もいた。



(写真1) 徒歩帰宅者と建物外で待つ人々

2. 地震発生後のバンコク都の対応

本県の友好提携都市のバンコク都は地震発生後、速やかに都知事と都の SNS で、タイ語ではあるが都内での人的被害、建物被害状況、被災者支援策等の情報発信を続けた。4月3日の都による災害終息宣言後も、ビル倒壊現場での救助活動とその状況報告を継続した。また、都は帰宅困難者や、高層マンションの安全性に不安を感じる住民に、都内の公園を一時的な避難所として24時間開放し、給水車による給水や移動式トイレを提供した。更に、都は住民や旅行者が安心して過ごせるよう地震発生翌々日に高層建築物やホテル等の所有者に対し、安全点検を指示した。そして、バンコクに影響を与える大きな余震は予想されていないことを改めて伝え、住民や旅行者に安心感を与えた。

バンコクの状況が正常に戻りつつあった地震発生翌々日、都は住民と旅行者が前向きになれるよう「Bangkok, We are OK!」というキャンペーンを開始した。キャンペーンの一環として、被災者を元気づけるため、都の公園で野外コンサートを開催し、SNS で住民や旅行者に参加を促した。都知事が率先して参加者の体調を気遣い励まし、参加者の中には「建物外で多くの人々と一緒にいることで安心するようで、子供が家に戻りたくないと言う」と話す人もいた。また、コンサートに各国大使館の大使を招き、



(写真2) コンサートの様子
引用：バンコク都 Facebook

世界中にバンコクが安全であることを発信した¹。

3. タイに住む外国人として困ったこと

外国人にとって、被災し、最初に困ったことが電車の運行状況の把握だった。帰宅時は運行会社のサイトが閲覧できず、ひとまず駅に向かったが、駅は閉鎖されていた。また、タクシーも乗れず、建物倒壊の不安を抱えながら徒歩で帰宅した。翌朝、テレビのタイ語テロップをスマートフォンで翻訳し、主要な電車の運行再開をやっと確認できた。帰宅途中、壁や天井の落下、柱の亀裂等の理由でホテルを手配し避難するという SNS 投稿を目にし、避難所への避難も考えたが、情報の入手方法が分からなかった。

最も困ったことが日本人向けの情報がほとんどなかったことだ。在タイ日本国大使館の発信内容は新聞やテレビの報道と同じであった。電車の運行状況、道路や建物の被害状況等は、タイ語のニュースサイト、タイ政府やバンコク都の SNS 等を都度翻訳して確認するほかなかった。

4. 災害発生時の外国人の支援

今回のバンコク都の対応は、インバウンド誘客や在住外国人の支援に取り組む本県や県内市町村にとって、災害時の外国人の心理的不安を軽減する取組を検討する際に参考となる。都が建物の安全点検を要請したことで、旅行者や住民は安全性が確認された場所で過ごすことができた。また、一時避難場所として公園を 24 時間開放したことで、不安を感じる人々が避難できた。さらに、コンサートは参加者の緊張を和らげるとともに、バンコク訪問を考える旅行者に安心であるという情報を届ける効果もあった。他方、災害時の情報発信については課題がある。地震発生時、都の HP や SNS では外国人向け情報が不足していた。災害時に全情報を多言語発信することは難しいため、平常時の在住外国人への防災教育と災害発生時の情報伝達体制の構築が必要と考える。

本県は、観光情報サイト「VISIT FUKUOKA」での多言語災害情報発信の他、防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」で現在地の気象情報、近くの避難所の開設・混雑状況等を提供している。アプリは英語を含む 5 言語に対応しており、在住外国人や外国人旅行者にも活用いただきたい。また、防災・災害時の行動、情報収集の方法等を外国人コミュニティ代表者等に学んでもらい、各コミュニティで広めてもらう事業も行っている。これは災害時に外国人を支援する体制の構築につながる。今回、バンコクで地震を経験し、海外での被災ストレスは大きかったため、本県を訪れる外国人がより安心して観光や生活ができるために何ができるのか、今後の可能性を探っていきたい。

¹ BMA Public Relations Office 「Bangkok Leaders Launch “We Are OK” Campaign to Reassure Tourists Post-Earthquake」 <https://pr-bangkok.com/?p=478736> (参照 2025-4-21)